



農家の味方！！幅広い登録内容を持っています！！
糸状菌・細菌性病害防除の有機銅殺菌剤

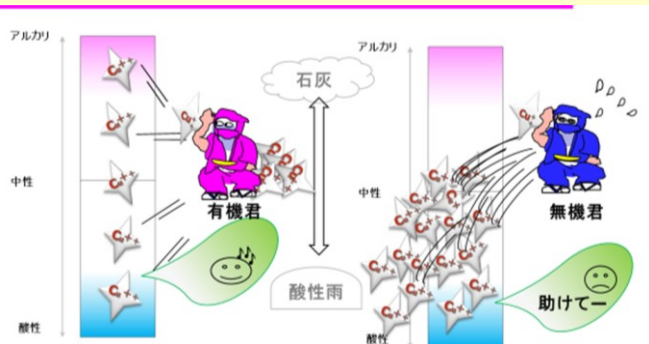
ヨネポン[®]水和剤



登録番号	農林水産省登録 16255号
有効成分	ノニルフェノールスルホン酸銅 40%
毒性	普通物
魚毒性	B類
FRACコード	M1
規格	1kg×12袋入・500g×20袋入・200g×30袋入

ヨネポン水和剤の特徴

- 有機銅は銅イオンが安定して放出されるため、薬害リスクが少ないのが特徴です。



- 銅イオンによる殺菌作用であるため糸状菌や細菌性病害に安定した効果を発揮し、耐性も生じにくいのが特徴です。



- 有効成分が界面活性剤の機能も有しているため、他銅剤よりも展着性が優れます。(撥水性の作物に好適です。)

キャベツ苗への散布



ヨネポン水和剤 500倍
展着剤 無加用

無機銅A水和剤 2,000倍
展着剤A 5,000倍加用

- 展着性が良好であり、作物の汚れが少なく、きれいな収穫物が得られます。
- 適量のカルシウムが含まれており、その効果により作物の生育が良くなります。

適用病害の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ノニルフェノールスルホン酸銅を含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	そうか病	40倍	種いも1kg 当り30mL	植付前	1回	種いも 吹き付け処理	5回以内 (種いもへの処理は1回以内 散布は4回以内)
	軟腐病・疫病			収穫前日まで	4回以内	散布	
きゅうり	べと病・うどんこ病 斑点細菌病・褐斑病	500倍	100~300L/10a	収穫7日前まで	5回以内		散布
メロン	べと病・うどんこ病						
キャベツ	軟腐病・黒腐病 べと病・アブラムシ類						
ブロッコリー	べと病・黒腐病						
カリフラワー	黒腐病						
はくさい	軟腐病・べと病						
にんじん	黒葉枯病・うどんこ病 斑点病						
だいこん	軟腐病・黒斑細菌病 白さび病						
かぶ	べと病・黒腐病 軟腐病						
のぎわな	軟腐病						
なばな類	白さび病						
ほうれんそう	べと病						
非結球あぶらな科野菜類 (のぎわなを除く)	軟腐病 白さび病						
レタス	軟腐病・腐敗病 斑点細菌病・べと病			500~700倍	200~700L/10a	落花30日以降但し 収穫30日前まで	
非結球レタス (リーフレタスを除く)							
リーフレタス							
セルリー	軟腐病・斑点病	500倍	200~700L/10a	収穫後~発芽前まで	3回以内	散布	3回以内
ねぎ	軟腐病・べと病 黒斑病・さび病			収穫7日前まで	4回以内		4回以内
わけぎ				軟腐病・べと病 灰色かび病	5回以内		5回以内
あさつき					うどんこ病		6回以内
たまねぎ	うどんこ病	500倍	200~700L/10a	-	5回以内	散布	5回以内
ぼら	斑点落葉病・黒星病・褐斑病 すす斑病・すす点病						
りんご	黒星病	800~1000倍	200~300L/10a	落花30日以降但し 収穫30日前まで	4回以内	散布	4回以内
なし	落葉病			落花30日以降 収穫14日前まで			
かき	落葉病	800~1000倍	200~300L/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	3回以内 (萌芽前は1回以内、 萌芽後は2回以内)
ぶどう	べと病			開花前まで 袋掛け後但し 収穫21日前まで			

使用方法

- ① 本剤を500~1000倍に薄め、発病時期に7~10日間隔で十分量散布して下さい。尚、ばれいしょそうか病での種いも吹き付け処理においては、本剤を40倍にうすめ、種いも1kg当り30mlを植付前に行ってください。
- ② 本剤は、一般の水和剤に比べ比重が軽いので、希釈時水面に浮き溶けにくいという性質があります。少量の水で練ってから、所定量の水を混ぜながら加えて頂くと比較的早く均一な希釈液を作ることができます。(下記参照)

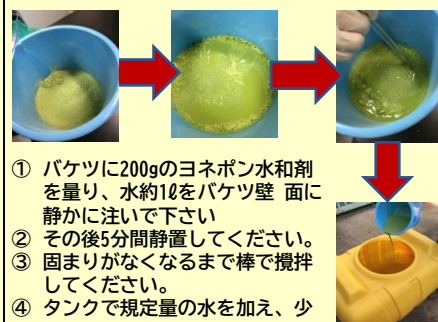
使用上の注意事項

1. 石灰硫黄合剤、マシン油乳剤、ジチオカーバメート系薬剤などの混用はさけてください。
2. 無機銅と比べると薬害リスクは軽微ですが夏期高温時には薬害を生じるおそれがあるので注意して使用してください。
3. ネット系メロンに使用する場合、施設内の高温時下での使用は葉に軽度の薬害が生じるおそれがあるので注意して使用してください。
4. だいこんに使用する場合は、根頭首部が黒変することがあるので留意してください。
5. セルリーに対し、生育中期以降に散布すると葉緑部が退緑黄化することがあるので、第一葉掻き時期前後の生育初期~中期に使用してください。
6. はくさいに使用する場合は、結球期以降の散布は外葉に薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
7. りんごに使用する場合は、落花30日以内の散布はさび果を生じるおそれがあるのでさけてください。
8. ぶどうに使用する場合は、開花後から袋掛けまでの散布では果実への薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
9. なしに使用する場合は、落花30日以内の散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。なお、新梢伸長停止期以降の散布が望ましいです。又、西洋なしには薬害が生じることがあるので、使用をさげ、飛散等により散布液がかからないよう十分注意してください。
10. 核果類に薬害を生じる可能性があるため飛散等により散布液がかからないよう十分注意してください。
11. 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意事項

1. 取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出し直ちに医師の処置を受けてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の処置を受けてください。
2. 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、薬液調製時及び種いも吹き付け処理の際は保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の処置を受けてください。
3. 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
4. 使用の際は保護眼鏡、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
5. 作業時に着用していた衣服等は他のものとはわけて洗濯してください。
6. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

ヨネポン水剤500倍希釈液調製方法 (100L)



- ① バケツに200gのヨネポン水剤を量り、水約10をバケツ壁面に静かに注いで下さい
- ② その後5分間静置してください。
- ③ 固まりがなくなるまで棒で攪拌してください。
- ④ タンクで規定量の水を加え、少しかき混ぜて調整完了です。

水産動植物に対する注意事項

1. 水産動植物(魚類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
2. 使用残りの薬液が生じないよう調整を行ない、使い切ってください。
3. 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。
4. 空容器、空袋等は、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

貯蔵上の注意事項

1. 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。
2. 本剤は吸湿性があるので開封後の保管は口元を封じて空気の通気を断つようしてください。